生まれ変わった名鉄西尾線

6月21日に名鉄西尾線の約2.1kmの区間が高架化しました。これに引き続き、29日には、市内では20年ぶりの新駅「南桜井駅」が誕生。このほか、碧海桜井駅が「桜井駅」に、碧海堀内駅が「堀内公園駅」に駅名を変更しました。

新たな桜井の顔「桜井駅」

線路の高架化とともに駅舎もリニューアル。周辺には、桜井福祉センターや大型ショッピング業で変わりつつある桜井地域の中心となります。

工事中の桜井駅
（1月17日撮影）

⬆碧海桜井駅
（4月3日撮影）

⬅桜井駅
高架化された線路と駅。これによって周辺4か所の踏み切りによる交通の分断が解消された。

通勤に便利「南桜井駅」

駅周辺には、自動車産業関連の大規模事業所が立地。地域住民や通勤者が、鉄道を「足」として利用することで、環境負荷の低減につながります。また、交通渋滞の緩和・生活環境の向上も期待されます。

⬆南桜井駅
通勤者による利用が見込まれる。

建設前の駅周辺➡
（昨年2月28日撮影）

堀内公園の玄関口「堀内公園駅」

堀内公園に隣接する駅です。昨年11月8日に現在の駅舎となりました。

⬆堀内公園駅
観覧車のカゴをモチーフにした駅舎が特徴的。

⬆碧海堀内駅（昨年6月6日撮影）

⬅駅から堀内公園は徒歩0分。